

氏名:松本 怜央

所属: 学部 4 年

出身:ベルギー ブリュッセル

趣味:サッカー、漫画、自然

研究について

私はミナミキイロアザミウマという昆虫に対する新たな防除方法の検討を行っている。ミナミキイロアザミウマはメロンに食害を与えることで知られており、メロンの生産地で有名な静岡県袋井市では特に被害が多発している。現状として袋井市の農園ではミナミキイロアザミウマに対して農薬が効かなくなっており、農薬に対する抵抗性がみられている。また海外では農薬規制が厳しくなっていること、そして日本政府が 2050 年までに農薬の使用量を 50%低減する戦略を立てていることから農薬以外の方法での防除が必要とされている。私は新たな防除方法としてメロンの香り成分(BVOC)を利用した香気シグナルによるトラップへの誘引に着目した。メロンの香り成分を定性・定量、その中の最も誘引を示す化合物を同定し、ミナミキイロアザミウマを粘着トラップに誘引する防除方法を確立している。



大学で育てているメロン